

認知症 市民啓発研修会の開催報告



中島先生の講演のご様子です。若年性認知症に関する歴史、特徴、社会的な問題など事例を交えながらお話しいただき、参加者からあっという間のひとときであったというお声を頂きました。



会場の様子です。いかがでしょうか？大盛況です(^◇^)



最後に、参加者全員で紙飛行機を飛ばしました皆様、ご協力ありがとうございました。



今年度より、「障害者差別解消法」施行に伴う、手話通訳士の方々に3名登壇していただきました。手話通訳の皆様、ありがとうございました。

平成28年7月2日(土)13:30~15:05まで、のがみプレジデントホテルにて、「若年性認知症のケア、予防~そして笑顔で向き合えるために~」という演題で、天神オアシスクラブ施設長 中島七海先生にお話しして頂きました。途中、「若年性認知症という病名を告知されたらどうしよう」というワークを織り交ぜながら、若年性認知症における特徴や課題などを分かりやすく説明していただきました。研修会には、民生委員、地域包括支援センター、ケアマネジャー、精神科病院の看護師、社会福祉協議会、介護職員の方など134名の方々にご参加頂きました。

当日は急に雨が降ったり止んだりと天候が不安な中、皆様、当研修会にご参加いただきましたこと、この場を借りまして、御礼申し上げます。

今回は、平成28年10月22日土曜日午後2時30分~午後5時まで、飯塚記念病院にて、専門職向け研修第一段として、「認知症の診断とは?~診断方法から関わり方まで、日ごろの臨床から振り返る~」という演題で、福岡大学病院 精神神経科 准教授 尾籠晃司先生による講演を開催させて頂きます。また、皆様方とお会いできることを楽しみにしています。

最後に、134名の方々のうち、アンケートに106名の回答、回答率75%でした。

大半の方々が満足していただける内容で、若年性認知症のことを考える機会となったとのことをお声を多く頂きました。

